

ss600D 組立・取扱説明書

パワーアンプキットss600Dをお買い求めいただきありがとうございます。

本機は出力に余裕のあるアンプですので、使い方を間違えるとスピーカを破損したり大変危険です。次ページ以降の記載事項を守って安全に使用してください。

特に、お持ちのスピーカの音が割れるほどの大音量では決して使わないでください。スピーカを壊してしまいます。本機は第二世代電源を搭載していますので小さい音量でも音楽に十分に浸れます。

本機には電源ケーブルは付属しておりません。IEC規格の電源ケーブルをお使いください。一般のオーディオ機器などに付属しているものですが、市中の電気店や小売サイトでも入手できます。価格は数百円からあるようです。

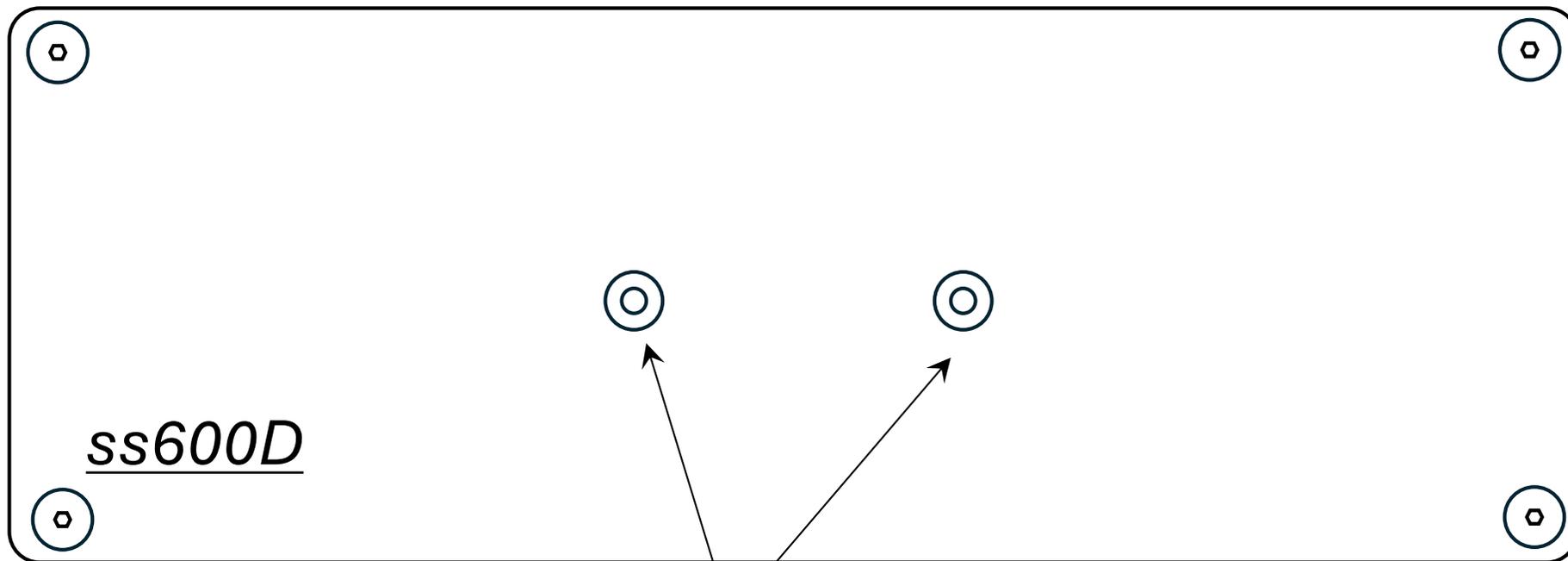
ご不明な点がございましたら、お問い合わせは当店までどうぞ

PractSoundSystem
info@practsoundsystem.jp
090-3452-0279 岡本

初めて使用する場合 通電まで

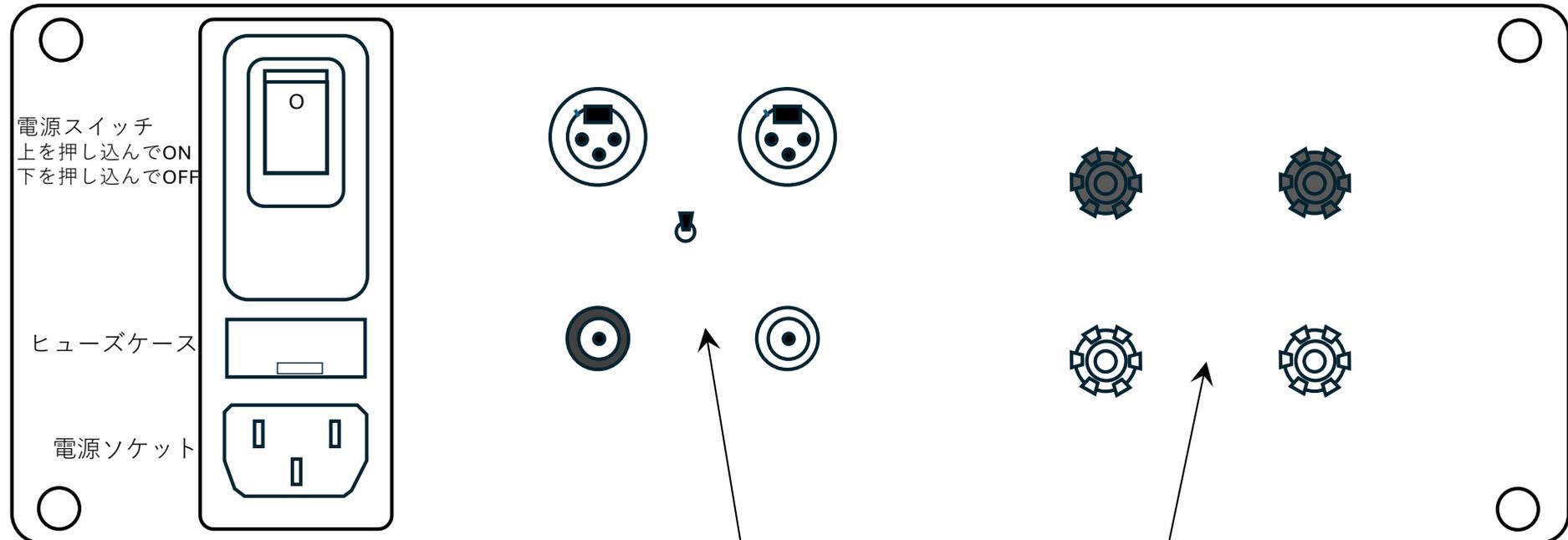
- 1 配線類の抜き差しを伴う作業では、**必ず本機の電源を切って**から作業してください。接続と操作方法は次ページ以降をご参照ください。
- 2 電源以外の配線をしっかり接続してから、念の為電源スイッチが**OFF**になっていてプリアンプなど音源側装置の出力ボリュームも最低位置のままであることを再確認してから電源線を接続してください。
- 3 RCAコネクタは非磁性で比較的柔らかい材質でできています。特にRCAケーブルを抜き差しする際は**回さずにまっすぐ抜き差し**してください。
- 4 本機の背面にはRCAとXLRの2種類の入力コネクタが装備されており、その間に選択スイッチがあり、上に倒せば**XLR**入力、下に倒せば**RCA**入力の選択となります。
- 5 電源線を接続し、全ての配線が完了したら電源スイッチを入れてください。電源投入後3秒程度で前面パネルの2つの**LED**が点灯します。この**LED**が点灯してから静かにプリアンプのボリュームを上げてください。
- 6 **本機のヒューズについて**ですが、本機には**10 A**のミニサイズ・ガラス管ヒューズが入れてあります。本機にはスピーカ端子短絡保護回路も入っていますので通常の使用においてヒューズが切れることは稀ですが、ヒューズの劣化等で切れることもございます。全く電源が入らなくなった場合はヒューズを点検してください。

ss600D 各部の名称と機能 (前面)



赤色LED
アンプ準備完了で点灯

ss600D 各部の名称と機能 (後面)



ヒューズを外す時はヒューズケース中央の下側に先の細いものなどを差し込んで引き出してください。

予備のヒューズもいれてありますので、万が一切れていた場合は予備ヒューズと替えてみて下さい。

XLR入力端子 スイッチ上
RCA入力端子 スイッチ下
右 (赤) ・左 (黒)

スピーカー出力端子
上下で1 c h
上 (赤+) 下 (黒-)

入力と出力は**本機を前から見て**
右側が右チャンネル・左側が左チャンネルです
RCA ケーブルは**回さず**に抜き差ししてください。